

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	スポーツ推進委員活動費	本市のスポーツ振興のため、スポーツの実技指導やスポーツイベントのボランティアとして大会運営の支援を行う。	スポーツ推進員によるスポーツの振興を実施 ・研修会3回/年 延べ121人 ・県研究大会1回/年 41人 ・中国地区大会1回/年 8人 ・スポーツイベント支援 延べ224人	推進委員115人によるスポーツ実技指導や市内で開催するスポーツイベントに対しスタッフとして派遣する際など支援を行うことで、市民にスポーツを行う機会を提供することができた。	スポーツを行う機会のさらなる増加を図るため、各地区で実施されるスポーツイベントへの講師派遣や地域と連携した共同事業の開催の実施に向けた検討を行う。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	324
2	○	市民総スポーツ運動費	学校の体育施設を一般開放することで、市民がスポーツを行う場を確保する。	学校施設の一般開放によるスポーツ振興 ・一般開放 56施設(小中学校体育施設)	学校体育施設施設予約及び鍵の管理をシステム化し運用することで、市民が手軽に施設予約ができるようになるなど、スポーツに触れる機会の増加を図ることができた。	学校施設開放事業の周知を広め、多くの市民がスポーツに取り組む環境が提供できるよう制度整備や市民ニーズに合ったルール改正に努めていく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	324
3	○	市民体育祭開催費	本市最大のスポーツ大会「鳥取市民体育祭」を開催することで、生涯スポーツの振興や活力ある地域づくりを推進する。	鳥取市民体育祭の開催 ・競技数 21種目 ・参加地区 43小学校区 ・参加者 延べ12,781人	各校区対抗で競技を実施し、市民にスポーツを行う機会を提供するとともに地域活性化を図ることができた。	市民ニーズに呼応した競技を開催するなど、より多くの校区・市民が参画できる大会を開催し、市民にスポーツを行う機会を提供するとともに地域活性化を図っていく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	325
4	○	スポレク祭開催費	誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等を中心として開催され、ライフステージに応じたスポーツ推進を図る。	・鳥取市スポーツ・レクリエーション祭の開催 日程：令和5年9月2日～9月24日 グラウンド・ゴルフ、ベタンク、ゲートボール、ウォーキング、ドッジボール、パウンスボール、ラージボール卓球、バウンドテニス、ソフトバレー、羽根っこゲーム、モルック、ポッチャ、ニュースポーツ体験会、ボウリング、スケートボード 計15種目 755人	15種目755人がスポーツに取り組み、仲間づくりや健康寿命の延伸など、ライフステージに応じたスポーツ振興に貢献した。	鳥取市スポーツ・レクリエーション祭は、スポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、健康で明るい生活を送るため、積極的にスポーツ活動に参加していただきスポーツ振興を図ることを目的としており、障がいの有無を問わず若者男女が取り組める競技会である。ルールがやさしく、年齢や体力にかかわらず誰もが楽しめる競技会であることを広くアピールし、多くの参加者を募っていく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	325
5	○	麒麟のまち交流スポーツ大会事業費	アマチュア団体が開催するスポーツ大会及びイベントに対し支援を行うことで、民間活力を活用した麒麟のまち圏域のスポーツ振興を図る	①鷲ヶ山麓ハーフマラソン【1,000千円】 日程：令和5年11月12日 参加：842人 ②麒麟のまちカップミニバスケットボール大会【200千円】 日程：令和5年10月1日 参加：217人	鳥取市麒麟のまちスポーツ振興事業補助金の交付対象として採択された3事業のうち、2事業が実施された。（1事業は、悪天候が続く実施が困難となったことにより事業廃止）スポーツに親しむ機会の創出を支援し、麒麟のまち圏域内のスポーツ振興や地域活性化につながった。	民間主導で進めるスポーツ活動は確実に広まるとともに、大会を運営するノウハウも民間に備わってきており、引き続き、民間活力を活用した麒麟のまち圏域のスポーツ振興を図る。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	326
6	○	ガイナレ鳥取力向上事業費	鳥取県唯一のプロサッカーチーム「ガイナレ鳥取」がAxisバードスタジアムで試合する際に各種事業を実施することで、本市の賑わい創出を推進する。	「ガイナレ鳥取」を活かした賑わい創出 ・ホームゲーム開催時の総合的な交通対策(シャトルバス、街なか駐車場の利用促進等) ・市の情報発信 5回実施 ・飲食ブースの出店支援 バードスタジアム開催14試合分	バードスタジアムにて開催されるホームゲームの際に、交通対策や飲食ブースの出店支援を行うことで、アウェーへのPR、ガイナレサポーターの満足度向上と集客力強化を図ることができた。	プロスポーツチームの存在は見る・する・支えるという多角的な観点からスポーツへの関心を上昇させるだけでなく、本市への賑わいと経済効果をもたらすことが考えられるため、引き続き多くの誘客に向けた事業に取り組む。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	326
7	○	子どものこころづくり支援「夢の教室」事業費	スポーツや文化、芸術の分野で活躍した著名人等を「夢先生」として迎え、小学5年生及び中学2年生を対象に「夢の教室」を開催する。	夢の教室の開催 ・実施 20クラス	令和5年度は対面授業の方式で実施され、学校で学ぶことができない貴重な体験をすることで夢を持つことや仲間と協力することの大切さ等を学ぶ機会を創出することができた。	「夢先生」の体験をもとに「夢を持つことの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを実技と講義を通じて伝える「夢の教室」は、児童生徒等に大変好評であり、今後も本事業を通じて、夢に向かってがんばる子どもの育成を推進していく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	327

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5～7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
8	○	東京オリ・パラレガシー継承事業費	東京オリパラのホストタウン事業やキャンプ地運営のノウハウを活かし、今後のスポーツ交流やスポーツツーリズムの振興を図る。	〔大会へのパラリンピアンへの派遣〕 派遣を計画していたスポーツ大会が新型コロナウイルス感染症の終息を受け4年ぶりに開催となったが、当該大会の運営上の事情により事業を取りやめとした。 〔キャンプ合宿の受け入れ〕 鳥取市内での合宿自体は計画されたが、実施直前に当該競技団体が合宿を中止としたため事業を取りやめとした。	事業自体は実施できなかったが、事前準備や体制づくりの検討を行ったことにより、次年度以降の取組に向けてノウハウが蓄積できた。	〔大会へのパラリンピアンへの派遣〕 本市の小学生等を対象としてパラリンピアンとのスポーツを通じた交流の促進等に取り組む。 〔キャンプ、合宿の受け入れ〕 引き続き、競技団体や関係機関等にキャンプ等の誘致を要請するとともに、受け入れ態勢の構築に取り組む。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	-
9	○	地域運営型部活動推進モデル事業費	部活動の地域運営を実現するため、地域団体と連携しニーズ調査及び事業スキームの策定を行い、事業検証を行う。	・1部活について、地域指導者による部活動を2回実施 ・地域部活動移行に関する概要書の作成、論点整理等の実施	体育館の鍵の管理等、部活動の地域移行に向け模擬的な活動を行うことができた。	昨年度立ち上げたスポーツ指導者バンクによる人材確保、学校・地域との連携等により地域部活動移行を進めていく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	328